

◎ 新型コロナを契機に浮き彫りとなった高校教育の現状・課題 （長野県調べ）

調査対象：長野県、岡山県、宮崎県、三重県、滋賀県、宮城県、東京都、岩手県

1 臨時休業による教育活動への影響

**公立**

- 緊急対応的なオンライン授業となり**探究的な学びを深めるための工夫**が不十分
- 学校再開後は**履修に重き**が置かれる傾向
- 家庭学習に係る理解度の確認など**質的把握**が不十分
- 家庭学習やオンライン学習の**評価への反映**のための検討が不十分
- 専門学科の実習時期や内容、施設環境の改善が必要
- ICTを活用した指導を行うにあたって**家庭のICT環境の格差**が障害
- 文化祭など生徒の**自主的活動の制約**
- 部活動のインターハイや全国大会が中止
- 新入生の集団づくりや人間関係形成が遅れる等の影響
- 生徒が就職や大学入試等の**進路活動に不安**

**私立**

- 多くの学校がICT環境を整備済だが、すべての授業をカバーするまでには至っていない
- ICT環境整備のため学校と家庭に**経済的負担**
- スポーツ強豪校などでクラブ活動が実施できないことに対する不安や不満
- 県外出身学生や留学生が、帰省・帰国ができず学校休業中も寮で生活



課題	学びの質	生徒の自主的活動	進路活動
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詰め込みによる質の低下</li> <li>・ 履修への偏重</li> <li>・ 授業時数の確保</li> <li>・ ICT環境による格差</li> <li>・ オンライン学習の評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化祭、部活動などの制約</li> <li>・ インターハイ、全国大会中止</li> <li>・ 新入生の集団づくり</li> <li>・ 人間関係形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2、3波下の大学入試</li> <li>・ 就職活動</li> </ul>

# 高等学校の臨時休業による教育活動への影響等に関する調査結果

## 2 コロナ第2波、第3波に備えた準備

### 公立

- 「オンライン学習」と「学校での対面授業」を効果的に組み合わせた**新しい学びのスタイル**の定着促進
- 学校のインターネット回線、指導者用端末、生徒貸出用端末、通信機器、WEBカメラ、マイク等の整備
- 分散登校による授業や行事等に対応するため、校内すべての教室のICT環境整備（大型ディスプレイ、教室用タブレットの準備）
- 継続的な教職員のICTスキル向上研修
- 専門学科における実習等のための施設・設備の充実
- 文部科学省の衛生マニュアルを補完する独自Q&A作成

### 私立

- 教職員の在宅勤務や交代勤務を促進するためZOOM 等を利用した会議が行える環境整備
- サーモグラフィーカメラ、アクリル板等の保健衛生用品の購入
- 寮でクラスターが発生した場合の対応要領の周知
- コロナにより入試が受験できなかった生徒のための追試験を他の私立校と同一日に設定

## 3 国への要望

### 公立

- **単位認定等に係る柔軟な対応**
- **オンライン授業を授業時数として扱う**ことができるよう制度の検討
- 主体的・対話的で深い学びの実現のための**教員定数改善**
- 高等学校における一人一台端末の整備の促進と整備後のランニング等に係る**継続的な財政支援**
- 家庭でのインターネット通信費に係る財政支援
- **第2波、第3波の影響に対応する大学入学者選抜の実施内容、日程等**に関する検討と早期の情報提供

### 私立

- ICT機器整備・教員のICT活用スキル向上のための支援の拡充
- 地方会場で入学者選抜試験を実施する**大学への支援**
- 学生寮の感染対策のための財政措置
- 一斉臨時休業により自宅に戻った生徒に対する寮費返還のための支援